



研究テーマ

専門分野に関する英語教育・英語学習の有効性

動物由来回虫症に対するアルベンダゾールの有効性と安全性の検討

研究概要

1. 学生の専門科目の分野に関連がある教材を用いて、英語教育・英語学習の有効性を検討しています。
2. 動物由来回虫症はイヌ回虫・ネコ回虫・ブタ回虫に感染した寄生虫感染症です。この感染症に対する薬物治療の有効性と安全性を研究しています。



HOMBU Amy

本部 エミ

ほんぶ えみ

語学教育センター
英語講師産業動物防疫リサーチ
センター
国際連携・教育部門
講師(兼任)

キーワード

ESP、英語教育、英語学習、
動物由来回虫症、アルベンダ
ゾール特許情報・
共同研究・
応用分野など共同研究: プリンズオブソク
ラ大学(タイ)、保健師の労働
生活の質(QWL)に関する研
究タイと日本の国際比較(20
15~2017)

1. 専門分野に関する英語教育・英語学習の有効性

ESP (English for Specific Purposes)とは、専門分野に特化して、英語の文章を読んだり書いたりするアプローチのことです。宮崎大学は英語授業のESP化及び国際化に取り組むため、2014年より基礎教育新カリキュラムを発足しました。専門領域に使用される英語教育・英語学習方法の有効性を研究し、学生の英語に対する勉強意欲を向上させるための研究に取り組んでいます。

2. 動物由来回虫症に対するアルベンダゾールの有効性と安全性の検討

動物由来回虫症はヒト以外の動物が本来の宿主である回虫類による寄生虫感染症で、主な原因寄生虫はイヌ回虫・ネコ回虫・ブタ回虫と考えられている。動物由来回虫症の薬物治療にはアルベンダゾールの内服が推奨されているが、その有効性や副作用に関するまとまった研究はない。そこで、動物由来回虫症に対するアルベンダゾールの有効性と安全性を研究しています。

ホームページ

技術相談に応じられる関連分野

メッセージ